

龍

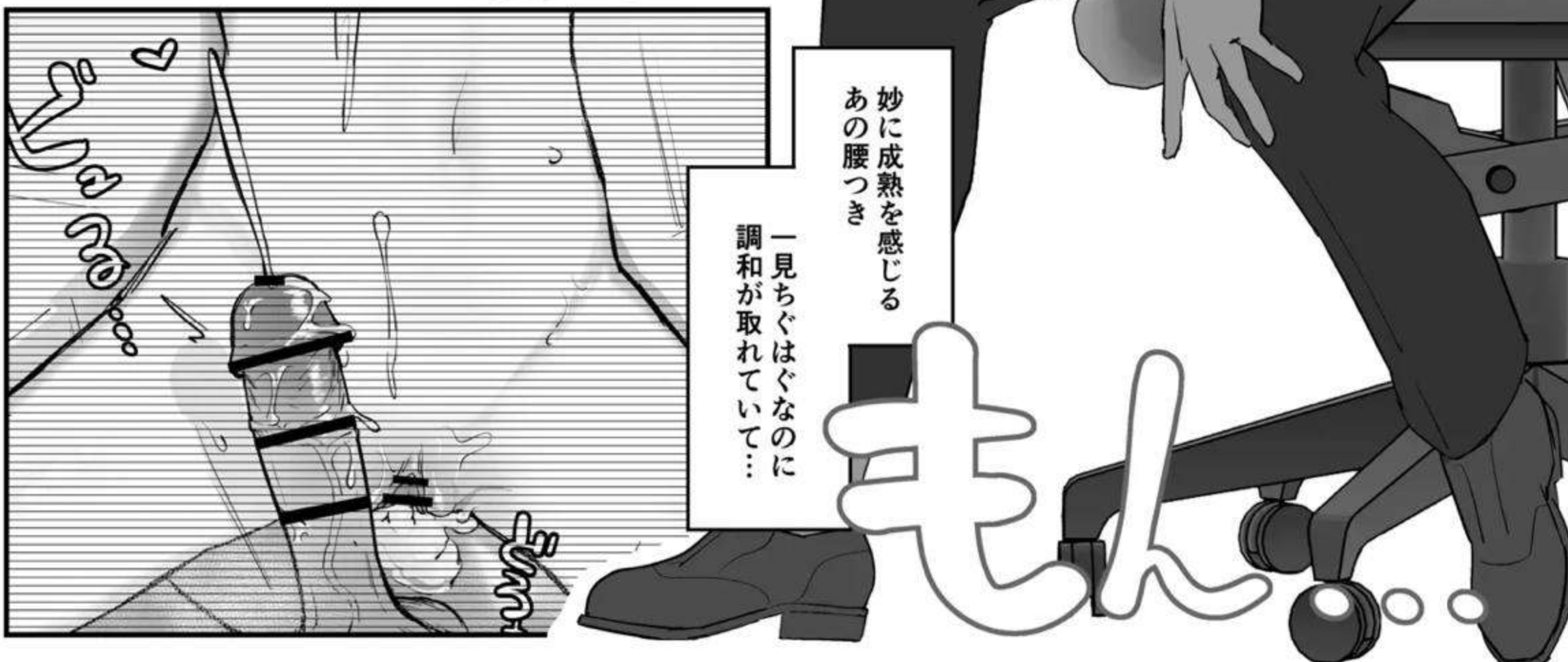
柳名 半蒙

華姫



R-18
ADULT
ONLY

龍





あれ以来ずっと
こんな調子だ…

っ……
いけない…



生徒との邪淫も
夢想するなとおおお

罪悪感から
満足に自慰すら
出来なくなっ
て
いるだなんて…



その事実気づいては



いつの間にか
対象をキサキに
置き換え……



今まで通りAV等で
発散しようにも…



こんなの誰かに
相談できる訳ないし…
普通にストレスが…

浮かないようじゃの…

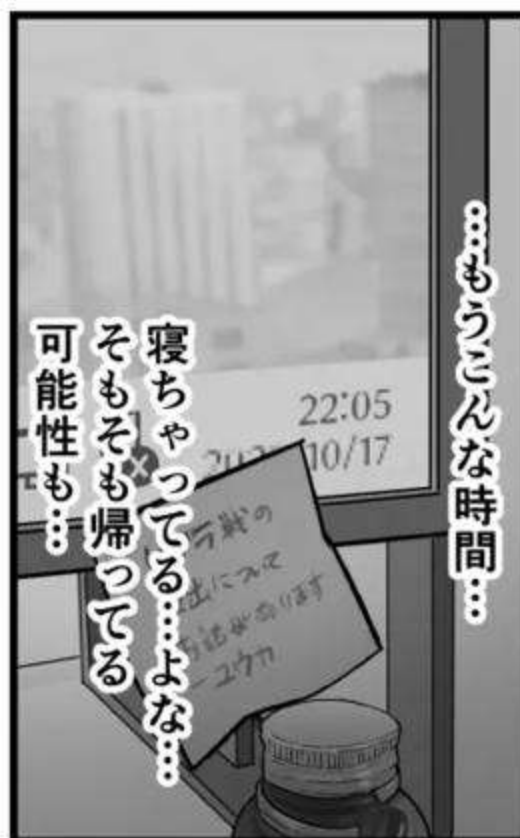






正直なところ

彼女との今後について
何も結論が出てない…



…もうこんな時間…

寝ちゃってる…よな…
そもそも帰ってる
可能性も…



はあ…あ
終わった…



休憩室
Break Room

はあ…

乗せられたとはいえ
あんなにしつかり抱いておいて
無かったことに…ってのは
流石に…ねえ？

かといって
立場を憚らずに
関係を持つのも…

あんな顔されちゃ

側に居ようが居まいが
気にするってのに…



ええいままよ！

なんなら
何食わぬ顔で
起きてきそうだし
キサキは。
決して尻込みを
しているわけではないのだ。
まさに大人のリスク管理という
やつなのである…



……いいか…ノックは。

居たとして、寝てたら
起こしちゃいそうだし

あんまウジウジしてると
お前の独白なんかいらんねん
はよ抱かんかいって声が聞こえてきそうだな…

居る…

ヘイローは……

寝てるか。
よかつ…

よかつたのか…?

うん…

いかにもここじゃぞ…な
スペース空けてくれちゃって…

ムムル…

あんなことも
あつて

休憩室は数少ない
未だ不可侵の
安息の地だというのに

ドカーン

服うつつす!!

肌寒くなってきたのに
こんな肩まで出して…

あまつさえ
こんな無防…備…

将自ら相手の寝所に
潜り込み…

というかあなた
身体の事も
あるんだから
ちゃんと暖かく
って...

丈短あッ!?

なっ...え?
みじっ...み...短あ
しかもこれ...履いてな...
えっ...は?

.....
駄目だろ許しちゃ...
大人として...これを...

明日起きたらちゃんと
言わ...言って聞く玉かね

時折...叱られるのを
待ち望んでるようにも
見えるからなあ

となれば
今のうちに何かしら
手を打っておくのも...

— 手弱女の
眠りながらも
醸す色

あッヤバ

ずまゝ

— 瞬間...香る
あの夜の記憶

あ...
でも儼が...

うと...

然れども
日々の疲れに
呑み込まれ





—あー…

写真も
撮ったことじゃし



…ああも密着されては

どうしたって
あの日
初夜を思い出す…



ふう…

※先生が喜ぶかと思って
持ってきていた着替え



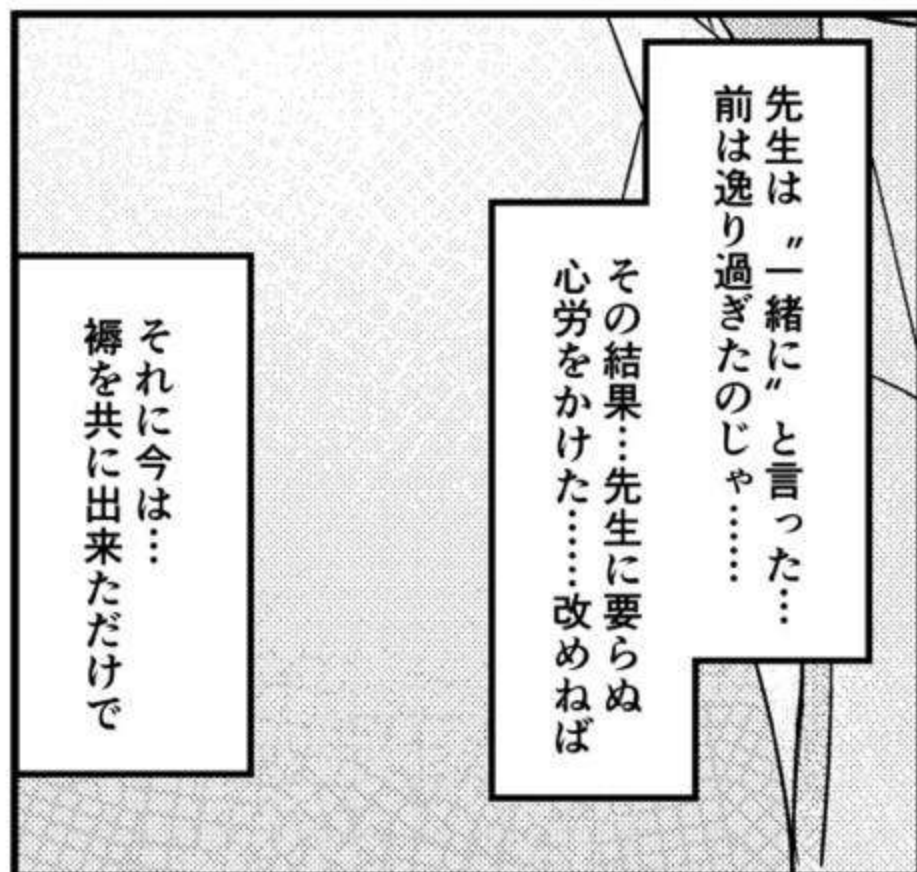
満足じゃ…

まぎゅ…

…ん？



お暇するのでしょうかの…



先生は“一緒に”と言った…
前は逸り過ぎたのじゃ…

その結果…先生に要らぬ
心労をかけた…改めねば

それに今は…
褥を共に出来ただけで





スースーする
よう…

な…ッ?
?!



う…ん…
なにやら
下半身が…



えっ…
き…さっ…

…



ちょ…無言で
再開しないでっ



…なん…え?

…



なんで
啜えたまま……
……なんて？

振動が気持ちい……

ふいうんも
おうえもうふあつあも



にゅり
にゅり

……随分と
お寝坊じゃったの……

そ……そう……？
そんな寝た感じは
しないけど……



なんか……
さっきから

ちゅぽ
にゅり

目つきと動きが
アンマッチな
気がする……

眉は顰めているのに……
随分とこう……愛おしむような……

ちゅぽ
にゅり
キサキのこういう感じ……
弱いんだよね……





.....?

ぐっ



ああ…
ゴムをとったのか

ってこのゴム…
もしもの時に私が
最近買ったやつ…?



備えと思って
休憩室に隠してたのに
当の本人に普通に
見つかった…

はむっ

え…キサ…



この…
どすけべ
優等生がア…!!

く
ぽぽ
ぽ



まさか…初回で…

既に結構限界なのに
こんなパフォーマンス…

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

はー

そ…その上目遣い
無限に効くから
やめてえ…

で…出…
耐えろ…っ





…いいのかえ？

直接で…

外で果てれば
よいものを…
及ぶ前から
その様では

大人の威厳は
何処へやら…



…まあ……
伏せがちな小娘に
されるがままの
年長者というのも…

また一興か…の…

しゅるん…

あっ
ちゅ…

ぬるん



あああ……
キツいの
拒むことなく
呑み込んでく……

キサキの膣……
とろとろきつきつで……
と……溶けそう……







…体格差のせいかな
あんま意味ないな

髪引っ張られない？

うむ

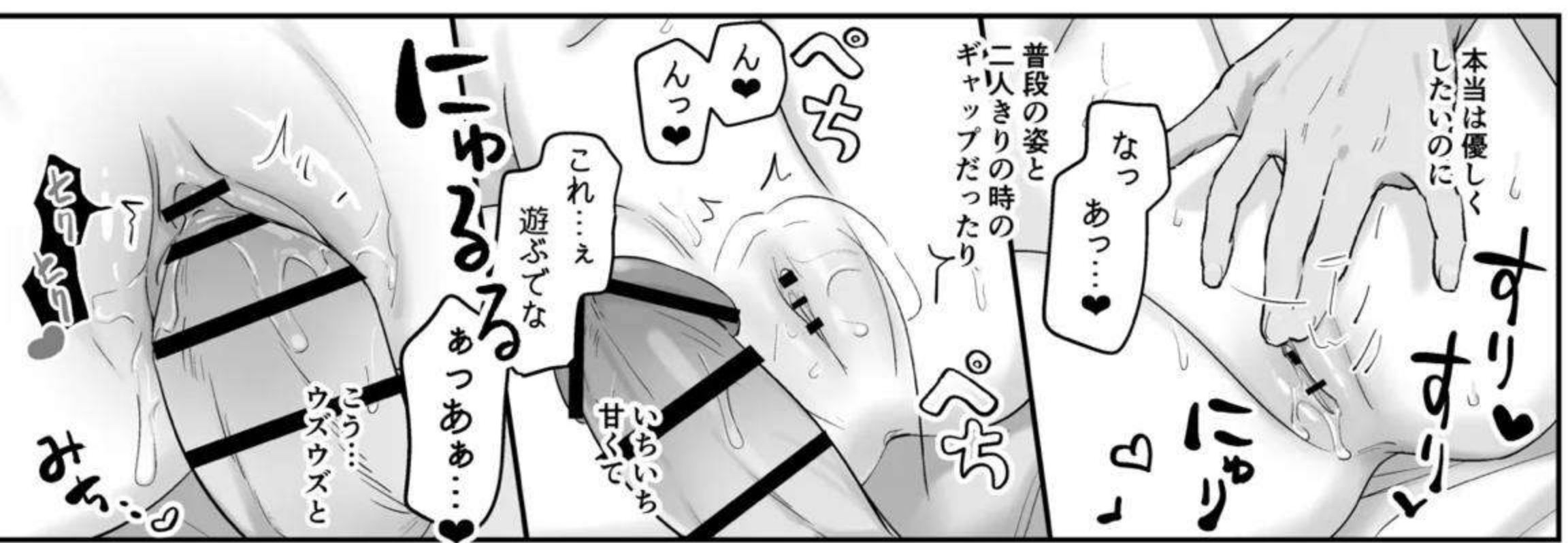


ちよつと
向き…変えるね

髪飾りも
外しちゃおう



うっ…
キサキと眼を
合わせてると
歯止めが…



本当は優しく
したいのに

すりすり

なっ

あつ…♡

普段の姿と
二人きりの時の
ギャップだったり

ぺち

ん♡
ん♡
ん♡

これ…え

遊ぶでな

にゅるる

あつああ…♡

いちいち
甘くて

こう…
ウズウズと

とりとり

みゅ…♡



っい…
イジワル
意地悪を

ぬいぬい

ぬいぬい

ぽん

あ♡

したくなくて
しまう…!!

はっ♡



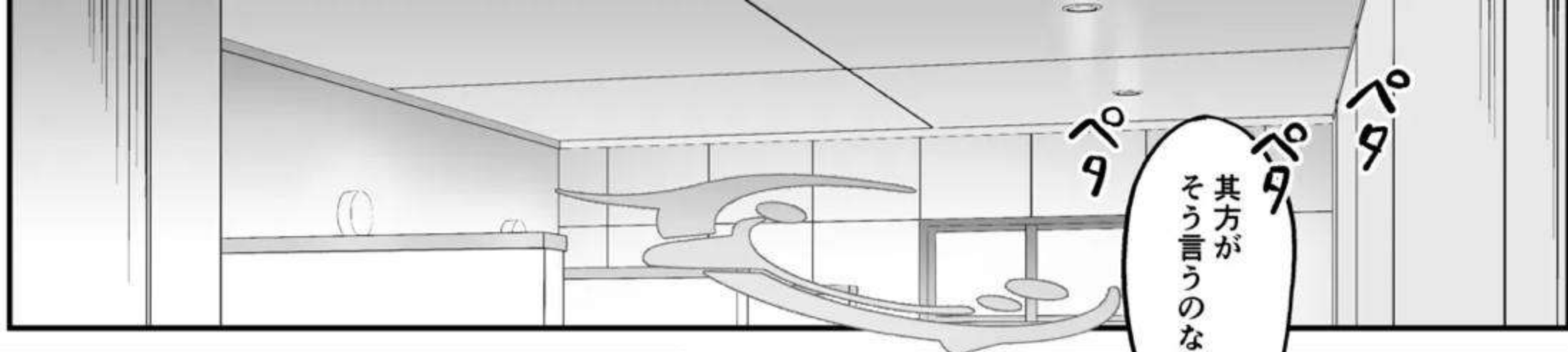
必死に声を
抑えようとしてる姿
庇護欲と嗜虐心が
ないまぜになって
おかしくなる……











其方が
そう言うのなら...

妾も全うすると
しようかの？

キサキ...
その...身体は
大丈夫なの...



低く見られたものじやな
この程度
心配には及ばぬよ...



歳背丈に
不似合いの
蠢惑も...



それに...その...
溜まって...
おったのじゃろう？



もう...
抗えない...

稀に覗かせる
面映そうな顔も







モエは相変わらず
ですね…

ふふ…

この声は…
ミヤコと…ミユ…?
二人…か?
RABBIT小隊なら
二人…だよな…

SRTの彼女たちが
全員で持ち場を
離れるなんて
しないだろうし…



連絡…した
…すけど

だ…誰だ…?

いや…朝の
この時間…おそらく…



ッ!
!?



え…
ミヤコちゃん
あれ…

ッ! ここは
不審がられる前に…



ていうか…キサキ
さっきから
締めすぎ…

ん…髪…?
ああ…
曇りガラスとはいえ
お団子は目立つ…か…



かなり危機的状況だが…
まだ首の皮一枚…



ミヤコと…
ミユだよな?

! せ…先生でしたか…
…せ…先生っ!?
すみません…すぐ出ます

流石のキサキも
慌てるのか
逸る鼓動が
伝わってくる…

あとあんまり
しがみつかないで…!
小さいけど
ちゃんと在る胸が逆に…
じゃなくてっ

まっ待って!



キサキは彼女たちと
面識ないはずだし…
ここは私だけでッ



…ええ…?

あ…いや…えいと……
二人とも服……
もう脱いじやってるでしょ?

…ええまあ

は…はい…

私た…私は
直ぐ出るからさっ



……

…嫌という
…訳では…



まあ…確かに…
そうですね
で…では…
お言葉に甘えて…

え……
…えっ…?
うう……
み…ミヤコちゃんが
そう言うなら…



それで…すぐ出るのに
また服着るのも面倒だろうし
待ってて貰うのも悪いから…
(寧ろ待たれる方が困る)

その…入りなよ……
もちろん嫌じゃあ
なければけど…



いや普通は
断るじやろ!!

我らが助かったのは
置いておくとして!



どうなっておるのじゃ!
この風紀は!!

それに……

サアアア

シヤコという方……



な……なんとか
繋ぎきった……



あとはキサキが
見えないように
抱え……て……

……?
な……何を……



しかもなんで声……



え?ミヤコちゃん
何か言った?

?……いえ
私は何も?

そ……そう……
気のせい……かも



キサキっ
声抑えて……





妾は何を…
やっておる…

この危うい状況で…

素知らぬ思慕を気取り…
童のような向こう気を
募らせ…



そうして耽る
この淫蕩が…

いっ
ちゃ♡

ひたすらに

いっ
ちゃ♡

いっ
ちゃ♡

気持ちいい…♡

いっ
ちゃ♡



少し前の妾では
想像もつかぬ…

然れど
もう…戻れない…♡



戻りたく…
ない…♡♡

我がこうも
絆されるとは…

こやつ
先生はどうじゃ…

おのれのよわさ
器の脆さを押し殺し…
独り先達として
周囲の期待信頼に
応え続けるという演目…

同じなのじゃ…
此奴と妾

妾だけが…
この憂愁を
知っている…

この都市で
妾が一番
近いところに居る…

妾だけが此奴と
真に睦み合える…

妾だけが此奴を
此奴だけが妾を…

いんちき♡

トチャイ♡

ニヤヤ♡

故に此は
必然の縁起…

ずい♡

たとえこの思惟が
噴飯の奢りであろうと…

ちんぽ♡

先生の
膨んできた♡

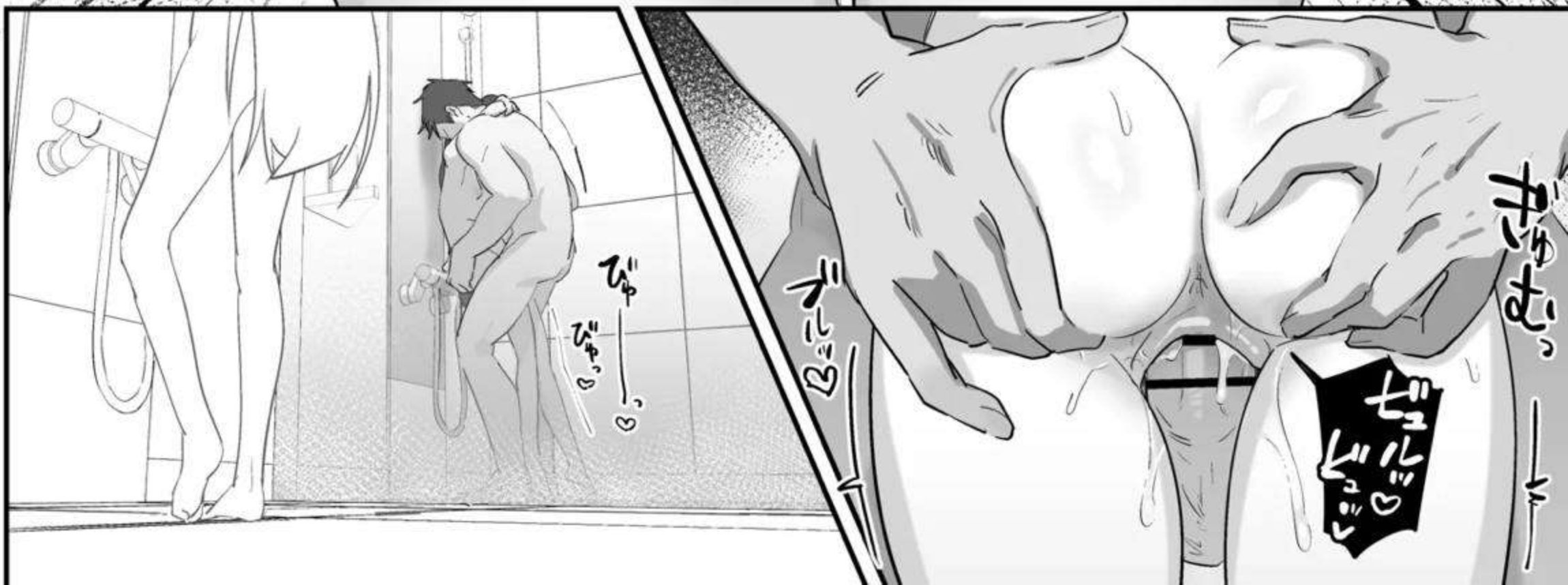
今はただ…この奢りに
浸っていたい…

どうか
このまま…♡

はー♡

ずい♡

ちんぽ♡





まっ…未だ…♡
どれだけ出すつもりじゃ

……此奴もこの状況に
奮っておる…と？
この…放埒者め…♡



なんと執拗な
射精かの…♡

延々と子宮に…
びゆくびゆくと…♡

加えて声を堪えんと…意識を
腹に向けておるせいで

胎の熱が余計に…
快感が退かぬ…♡



やっばり
聞こえる
気がする…

？…声ですか？
うん…
先生は何か
聞こえました？

え…っと
先生じゃなくて
女の人の
知らない声…だと…
思うんだけど…

あ…朝から怖いこと
言わないでください



ミヤコ！
ミュ！

私た…
私は出るねっ
ごゆっくり！

えっあつ
ハイ！

…？



下ろすよ?

うむ



ちゅい
ちゅる

ちよっ
前見えないから:

ちゅい

...だからその
また...元気に
なっちゃうんだって:



おっと...

す...すまぬっ

いや...謝るのは
私の方
っていうか...



いやそれより...最後また
出してしまった精液を
流すのが先決だよな...

今は少し
休んで:



先生...



いやあ
危なかった:

反省の前にキサキの髪...
ちゃんと乾かさないと...
でもドライヤーは...
シャワー室だし:



日も昇り

顰め眉でこっちの動きに合わせて腰動かしてくるのえっち過ぎ...

いつか此奴を鳴かせてみせる...

締め切った休憩室で

改めて...あのキサキが裸ネクタイで...

言葉少なに汲々と...

キサキの落した声

毛っぴら聞きたいナ

五月蠅いのに

うっわうっわ

うっわうっわ

うっわうっわ

うっわうっわ

うっわうっわ

ぬちぬちぬち

ぬちぬち

あゝあゝあゝ

びゅるびゅる

温いのが胎に広がる感覚...癖になっちゃう...

ギィ...

先生？
予算のことで
少し...って

あれ...いない

先輩の気配を
感じてドロンて
したんじゃ
ないですか？

＊
あんたじゃ
ないんだから...

まあ...誰かに
助けでも呼ばれて
行っちゃったんじや
ないですか？

ありえるわね...
モモトークで
一言入れとけば
いいかしら...

日も落ちてきたし
流石に終わろう...

そう...じゃの

...その...キサキ...
言い難いんだけど...

ちょ、離して

みなまで
言わずとも良い
"次に逢える日"...
じゃろう？

...
それだけじゃ
ないんだけど...
まあ...
いつが
いいかな...？

...明日 ♡

... ☆

ぽろぽろ
ぽろぽろ
ぽろぽろ

ぽろぽろ
ぽろぽろ
ぽろぽろ

あとがき

本書をお買い上げくださり、心から嬉しく思います。
ありがとうございます。

えちち同人誌を作るのは初、
漫画自体も、前作というか前日譚と云うところの
キサキ初夜漫画(竜ノ華姫雷)から続く2作目。
「今ならここもっと良く描けるのに…」等の反省点は
挙げたらキリがないですが、
キャラ絵も漫画もなんも分からんなりに頑張りました…。
イラムラ止まらんえちかわ門主になっていたら何よりです。

キサキ本の続きに関し
構想はほんとうに多数あるのですが
大きなルート分岐が1つあって、どちらを取るか悩んでいます。
そもそも二着目がくるまで様子見する可能性も大いにあったり。

内容がどうなるか、そもそも次回がいつになるか
色々と不透明ですが、研鑽を重ねて
シヨリティオブライフを高めて往く所存です。

それでは
善きブルアカライフを…！

制作中、絵や漫画とあまり関係ないところで
重めにメンタルを引き摺ったりして、色々とギリギリだったのですが
ついったやpixivで皆様がくださる感想コメントの数々に
本当に、本当に励まされておりました。ありがとうございます。
(ちょくちょく恐れ多い表現が散見され、ひい…となりますが笑)

もしよろしければ、本作の感想等もどこかで呟いていただけますと
僥倖の至りにございます。

竜ノ華姫臨

発行日：2025年12月30日

発行者：寛容な羊羹

制作者：p-n

連絡先：damekamoona@gmail.com



twitter(x)



pixiv



fanbox

本作の内容を無断転載・複製・複写、web上へのアップロードする行為を固く禁止いたします。
また、AIへの学習もご遠慮ください。

健全な肉体



キサキの筋トレ補助asmrください(真顔)

完性体



快方に向かうイベスト&二着目ください(切実)



竜ノ華姫臨

Presented by Kanyo-Na-Yokan